

С а й н б а й ц г а а н а у у ?

太字のところだけ読んでも何となく理解できますよ

(皆さん こんにちは ?)

3 月 22 日(金)首都ウランバートルから私の任地となる**バガノール**に移動してきました。そしてはや一**ヵ**月が経ちました。バガノールは一応ウランバートル市で、**飛地**なんです。

ウランバートルのような**大気汚染はなく**、そして一番は夜になると真っ暗で星がきれいに見える・・・と想像していたのですが、私の住むアパートはこの街の中心にあり、深夜までメイン道路のライトが点灯し、もう片方の方角には公園があるのですが、これも深夜 0 時頃までライトが付いていますので、外が明るすぎて**お星さまは期待外れ**でした。

それでも、**東西方向には 10 分と歩けば大草原**になりますが、やっぱり街の灯りがあるので、本当に星空の鑑賞は残念です。

日本はGWも過ぎ、日中は 30 度を超す日もあるように聞きますが、ここバガノールは、日中は 10℃ぐらいまで暖かくなりますが、**朝はまだ氷点下**です。しかし、私の住居も学校も暖房システムがあるので、部屋の中はとても暖かいです。この暖房システム、(ウランバートルもそうですが)火力発電所の余った熱を利用して温水パイプで部屋を暖めるシステムです。この間、光熱費の請求が来ましたが、この暖房に電気代の 2 倍の金額がかかっていた。

中心街に住む私のところは、住居設備がほぼ完璧ですが、ちょっと離れると、電気は通っていますが、水道のインフラは勿論、先ほど述べました暖房のインフラも整っていません。これに関しては、首都ウランバートルも同じで、中心部をちょっと離れる地域になると、水は 20 リットルの大型タンクを使って共同水道に汲みに行っています(有料です)し、暖房は石炭を使っています。この**石炭によるストーブの排気**が首都ウランバートルの**大気汚染の主な原因**だそうです。



バガノール近郊の山へ



この学校は 2 階建て



挨拶運動

学校の話をします。バガノールには小 1～高 3 (モンゴルでは 12 年生)

までの学校が 3 つあります。

学校の数が**絶対的に足りていない**ので、午前と午後で、同じ校舎を使って児童・生徒たちが登校しています。3～5 年生と 9～12 年生が午前で、授業は**8 時から**始まります。授業時間は 40 分で、授業休憩は 5 分、7 時間授業で 13:15 に午前の部は終わります。

午後は 13:30 から、6 年生～8 年生と 1 年生～2 年生が登校し、6～8 年生は 7 時間授業で 18:45 に授業が終わります。1～2 年生は 35 分授業の 5 時間授業で 16:30 に終わります。

学校の構内には、10 時から営業している食堂があり、児童生徒たちは、休憩時間のみならず、気楽に利用しています。休憩時間内に食べ終わらなかったりするので、そのまま授業のクラス内で食べている子もいます。

トイレも休憩時間内では難しいので、授業内にトイレに行く生徒もいます。この時、いちいち授業担当の先生に断らずに教室を退出しています。

高学年になると、ほとんどの生徒がスマートフォンを持っており、授業内で利用しています。スマートフォンをまとめて預かっているクラスもありますが、そうでないクラスもあり、この辺も日本では考えられないです。

最後に、日本で 2 か月間(訓練所にて)、モンゴルに来てから 1 か月間、モンゴル語を勉強してきましたが、現地人との会話はかなり苦勞しています。そこで**スマートフォンの翻訳機能**という便利ものを使ってしまうのですが、この便利機能を使うがゆえに、語学の上達が向上していません。これについては自分が頑張るしかないですね。

では、皆さん、今回はこの辺で、次号を期待してください。北澤でした。